

【幼保小連携通信】

保育課・学校教育課
幼保小連携担当

夢に向かって挑戦する子ども

令和6年度

9月20日(金) No.13

田名地区幼保小中連携情報交換会

～ 共通の視点を意識した遊びや学びのつながりについて～

7月30日(火)に、幹事校である田名小学校で、第1回 田名地区幼保小中連携情報交換会が行われました。

相模原市では、社会的・職業的自立に向けて必要な力を育む「キャリア教育」を推進しています。田名中学校区では、「自ら考えて行動することができる児童・生徒(自律する力)」「人の気持ちを理解し、助け合うことができる児童・生徒(つながる力)」をめざす児童生徒像としていて、田名小学校では、育みたい力として、「伝える力・聴く力(つながる力)」「考動する力(自律する力)」を重点に設定しています。

会の始めに、田名小学校の松本校長先生から、キャリア教育についての説明があり、「キャリア教育の考え方は非認知能力がベースになっていて、社会で求められているものは非認知能力に係るものが多い。」「非認知能力を育むことで子どもたちは学びに主体的に向かう。」「将来どんな大人になってほしいか、幼保小中の先生方がゴールを共有してそれぞれ、今、目の前にいる子どもと関わるのが大切。」というお話がありました。

幼保小中の学びをつなぐために、田名地区では、架け橋期のカリキュラムの共通の視点として、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」の中から、「言葉による伝え合い」「思考力の芽生え」を設定しました。共通の視点を基に、持ち寄った各校・各園での事例を基に協議が行われ、互いの教育・保育についての理解を深める機会となりました。



【Point】共通の視点を設定
具体的な事例や子どもの姿を基に

協議：共通の視点を意識した遊びや学びのつながりについて～ 共通の視点「言葉による伝え合い」「思考力の芽生え」～

【一学期の子どもの姿を基に】



【田名幼稚園作成 当日資料の一部】



各園での「言葉による伝え合い」「思考力の芽生え」が発揮されている事例や子どもの姿を持ち寄りました。遊びと学びがどのようにつながっているのか、具体的な場面、具体的な事例、具体的な子どもの姿を伝えることで、幼児教育で大切にしている遊びや学びのプロセスが伝わります。

小学校の先生からも、生活科の「夏あそびをしよう」の様子について、幼稚園・保育園で水遊びを行った経験が活かしていることや、子どもの思いや願いを起点として単元構成が行われているとお話がありました。

【連携校・連携園】田名中学校・田名小学校・田名北小学校・上田名幼稚園・田名幼稚園・田名保育園・友愛保育園・清水こども園・桑の実保育園